



妙高小学校

所在地 妙高市大字関山 2785 番地
電話 82-2012 FAX 82-4262

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/myoko-s/>



1 学校の概要

- (1) 創立 平成 17 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 福保雄成 教頭 長谷川和彦
教諭 9 名 講師 1 名 養護教諭 1 名
主事 1 名 図書司書 1 名
特別支援教育支援員 3 名
用務員 1 名 栄養士 1 名 計 20 名
- (3) 学級編制 (R3.1.8 転入生 1 名受入れ)

学年	学級	男	女	合計
第 1 学年	1	9	6	15
第 2 学年	1	5	9	14
第 3 学年	1	5	6	11
第 4 学年	1	11	9	20
第 5 学年	1	13	9	22
第 6 学年	1	5	7	12
特別支援	2	9	2	11
合計	8	57	48	105

2 学校経営の基本構想

- (1) 学校の課題
 - ・基礎基本の定着と思考力・表現力を高める学習活動の充実
 - ・自尊感情を高め、相手を思いやり、相手の立場に立って考え、行動できる社会性の育成
 - ・子どもたちの生活力としての体力の維持向上
 - ・家庭学習ノート、地域の教育資源の活用等、家庭、地域、学校が連携した教育力の向上
- (2) 学校経営の方針
 - 「子どもたちのために」という視点から
 - ・環境整備に努める ・改革の意識をもつ
 - 授業改善と家庭との連携
 - ・分かりやすい研究の推進と授業改善
 - ・家庭と連携し、学力向上の基礎固めをする
 - 保護者との約束（グランドデザイン）
 - ・保護者や地域の方に機会を捉えて理解を求める

3 教育目標

「なかよく かしく たくましく」

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
気づき 考え 行動する子
- (2) 努力事項
 - ・児童の体験・経験を生かし、「聴き合う」必要感のある授業づくり。読書に親しむ機会の多様化。学校と家庭の学びをつなぐツールとしての「ayumi」の活用。
 - ・自己肯定感を高めるよりよい人間関係づくりや集団づくり。あいさつや返事等の基本的な生活習慣や規範意識の向上、思いやりのある温かな言動ができる児童を育てる支援・指導。
 - ・主体的に運動に取り組み、楽しみながら体力を向上できる体育活動の実践。規則正しい生活習慣の形成を目指した支援・指導。

5 研修計画

- (1) 研究主題
「聴き合う」姿を観（み）取り、表現を繋げる授業～生活科・総合的な学習の時間を中核としたカリキュラムを創造し、「学びに向かう力・人間性等」を観る～
- (2) 主題設定の理由
昨年度、「聴いたら分かった、聴いてもらって嬉しかった」という学びの実感がもてる授業づくりに取り組んできた。子ども同士が聴き合い、子どもの学びを社会に繋いでいくためには、以下の教師の 3 つの力量を高めることが必要であると考え、本研究主題を設定した。

- ①子どもの経験や体験を生かし、「問い」から課題を創る力
- ②子どもの表現を引き出し、意味付ける力
- ③子どもの表現を手掛かりにして、子どもと子ども、子どもと社会を繋げる力

(3) 研究内容

- ①子どもの生活を見つめる。
- ②子どもの思考・心情を推察する。
- ③子どもの表現を分析的に聴き取り、関連付ける。

(4) 研究方法

- ①職員一斉研究授業の実施
 - ・研究主任及び低・中・高学年 1 学級ずつが研究授業を公開し、全職員が参観、協議会を行う。
 - ・授業者は「高めたい教師の力量」を具現する授業を公開する。
 - ・協議会で議論する。
- ②自由授業研究の実施
 - ・研究授業週間を設定し希望者が授業を公開する。
 - ・職員は自分の関心に応じて授業を参観する（年間 2 つ以上の授業を参観する）。
 - ・授業者は放課後等に参観者に声を掛け、協議会を行う。

6 主な行事の予定

- 4 月：始業式、入学式、交通安全教室、家庭訪問
1 年生を迎える会
- 5 月：避難訓練、つばき運動会→秋へ
- 6 月：~~6 年フレンドスクール~~、5 年自然教室
- 7 月：学校保健委員会、終業式
- 8 月：始業式
- 9 月：マラソン大会（期日変更）
- 10 月：つばき発表会、就学時健康診断
- 11 月：~~声楽発表会~~、6 年修学旅行
- 12 月：終業式
- 1 月：始業式、校内書き初め大会
- 2 月：移行学級、スキー教室
- 3 月：6 年生を送る会、終業式、卒業式